

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和8年4月21日

エリアデザイン調査特別委員会

# 速報版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午後零時57分開会

○西の原ゆま委員長 これよりエリアデザイン調査特別委員会を開会します。

————— ◇ —————

○西の原ゆま委員長 まず初めに、記録署名員の指名を行います。

かねだ委員、たがた委員、よろしくお願ひします。

————— ◇ —————

○西の原ゆま委員長 次に、陳情の審査を議題といたします。

5受理番号23 綾瀬小学校内の「わくわくにこにこ図書」を真に地域に開放された場所にするため旧こども家庭支援センター跡地施設内に移設拡充をさせることを求める陳情を単独議題とします。

前回は継続審査です。

また、報告事項①綾瀬・北綾瀬エリアデザイン（綾瀬ゾーン）の取組み状況についてが本陳情と関連しておりますので、併せて執行機関からの説明を求めます。

○都市建設部長 よろしくお願ひいたします。簡潔に御説明申し上げます。

初め、報告資料2ページでございます。

件名、所管部課名、記載のとおりでございます。

初めに、項番1、綾瀬駅西口周辺地区まちづくり計画案のオープンハウス型住民説明会開催結果でございます。

開催日時は記載のとおりでございます。

以下、開催場所等、記載のとおりでございますが、今回のまちづくり計画案につきましては、別紙1として、七、八ページに付けております。また、主な意見をまとめさせていただいたものを別

紙2でお付けしております。

今後の進め方でございますが、令和8年6月の計画策定に向けて、順次作業を進めてまいります。

次に、3ページでございます。

綾瀬駅西口周辺の歩行環境を改善に向けた取組でございます。

当委員会で逐次御報告申し上げますが、今回、私ども努力して何とか協議しておりました自転車止め柵の撤去なのですが、所有者、管理者でありますJR東日本またメトロから撤去できないということの理由を記載させていただいております。ただ、今後の方針でございますが、引き続き歩行環境の改善に向けた協議を継続してまいります。

次に、項番3、綾瀬小学校わくわくにこにこ図書の森でございます。

まず（1）として、令和7年度の利用状況。

4ページに移ります。

（2）番としまして、3月の実施イベントの結果を記載しております。

続いて、5ページでございますが、5ページ以下、記載のとおりでございます。

6ページ移りまして、（3）の案内用リーフレットの配付を配付施設として一覧にまとめさせていただきます。

今後の方針でございますが、引き続き、幅広い利用世帯に利用できるようイベントを検討してまいります。

私からは以上でございます。御審議よろしくお願ひいたします。

○西の原ゆま委員長 それでは、質疑はありますか。

○へんみ圭二委員 西口の柵の撤去についてなのですが、これは事前に御説明いただいたところ、自転車が通ってしまうから柵が撤去できないという話でありました。それも分からなくもないのですが、ただ一方で、東口を見ますと、柵を設けずに高架下を使っているという状況です。

その整合性というのはどうなのかなという気

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

がするのですが、そのあたりはどのようなことなのでしょう。

○まちづくり課長 へんみ委員おっしゃるとおり、東口の方は柵がない形で、自転車を降りてくださいというような注意喚起で運営をされてるようなところがございます。

JRと、あと東京メトロさんとも協議をする中で、そういう運営の仕方もあるのではないですかということも、確認というか協議をしながら、話し合いながらやってきたところですけども、今の時点では、やっぱり自転車が多く通ることによって接触事故が拭いきれないということで、今の段階では取ることができないというようなお答えをいただいたというところでございます。

○へんみ圭二委員 繰り返しになりますけれども、東口は接触事故があってもいいということになってしまうのかなという気もするのですが、そこはどうなのですか。

○都市建設部長 へんみ委員御疑問のところ、私ももそう思っておるのですが、施設管理者としての気持ちも分からなくないという、要は自分たちが管理してる場所なので、何か事故があった際には自分たちが責任取らなきゃいけない、その気持ちも分かりますが、ただ一方で、やはり西口のイメージ改善ということも取り組んでまいりますので、区からも積極的に、例えば車椅子が通れて自転車は通れないような仕組みの柵を、例えば区の方で設置することについてはどうですかということを少し突っ込んだ提案をしながら、これからも協議を進めたいと思います。

○へんみ圭二委員 分かりました。

高架下にパチンコ屋がありまして、パチンコ屋のところには既に自転車が止まっていたりバイクも入ってきてますから、現状でも入れる状況にはなっているということですし、そのことも踏まえて、もう少し歩きやすい環境というのをつくれるように、引き続き協議をしていただきたいと思います。

こととともに、柵をそのままにしておくにしても、今ある柵がもうさびだらけで、私ちっちゃい頃からですから、昭和から全く変わらない、ぼろぼろの柵が付けられてると。それをきれいな柵に替えてカラフルにするだけでも大分イメージが変わると思いますから、これからあの高架下を壁面アートも行っていくということですから、そのあたりも含めて、もう少しきれいにさせていただくように、是非お話をいただきたいと思います。

それから、まちづくり計画のオープンハウス型住民説明会も、こないだの19日に私もまちづくり、高架下でやっていた、何ですかね、何とかハント、スタンプハントでしたっけ、と一緒に伺いました。天気もよくて、たくさんの方が来られていたのでよかったなと思うのですが、あそこで、以前から私要望していたのですが、例えば、駅からすぐ近く綾瀬川が流れてますから、綾瀬川の活用ですとか、高架下の活用といったあたりも皆さんと話し合いができるといいかなということでお話をしていたのですが、あそこに行ったときには、そのあたりの説明というのもあまりなくて、多分、あの説明会に来られた方々は、高架下の活用とか綾瀬川の活用についても含めて、西口のまちづくりというのを考えていくのだということがあまり伝わってなかったかなという気がするのですが、そのあたりはもう少しこれからしっかりと伝えていただいて、せっかくある資源を活用するということをもっと進めていただきたいと思いますのですが、いかがですか。

○まちづくり課長 へんみ委員おっしゃる部分、確かにあるかと思います。来ていらっしゃった方にお答えいただいたりしたところを掘り下げて聞いていくような形をしましたので、特に、来ていただく方が関心を持っているところについての多く伺ったところが主になったかなと思いますけれども、確かに綾瀬川沿いのことも関心を持ってらっしゃる方もいらっしゃいましたし、むしろ落ちつ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いた住宅地がいいところなんだよねという方もいらっしやいましたので、その辺また今後のいろいろ意見を聞いていく場面を含めて、やり方、それから聞き方含めて検討はしてまいりたいと考えております。

○へんみ圭二委員 当日もこの地域資源マップを配られましたけれども、ここに綾瀬ふれあいの小径とか、あまり注目されないというようなものもある一方で、綾瀬川のこととかというのは全く記載がなかったですから、こういうところももう少し作り方を考えていただいて、地域の皆さんが本当にいろいろな資源を活用してまちづくりを進めていくということを考えられるようにしていただきたいと思っております。

あわせて、今度4月23日には、24日ですかね、ぐるぐるKIOSK開催されますけれども、このときにぐるぐるKIOSKの案内はしてなかったように思うのですが、されていたでしょうか。

○まちづくり課長 すみません、直接ぐるぐるKIOSKの御案内はしておりませんでした。

○へんみ圭二委員 先日、総務委員会でも申し上げましたが、やっぱりぐるぐるKIOSKについても全然周知が足りていないということで、地域の皆さんに聞いても全く知らないという方が多いですし、せっかく区で説明会をやるのであれば、直近でやる綾瀬のイベントについては、来られた皆さんに周知をすべきだと思いますし、そのあたりは部署間での連携というのがしっかり取れているのかなという気もしてしまうのですが、その考え方はいかがなんでしょうか。

○まちづくり課長 連携については取らせていただいているところがございます。ただ、今回は、すみません、周知をさせていただくところを怠ったとか、できなかったというところがございます。申し訳ございません。

○へんみ圭二委員 連携はしてると言っても、そこで案内していないのであれば地域の皆さんには

伝わらないですし、そこは本当に盛り上げていくためにはどうすべきなのかというのは考えていただきたいと思っております。

ぐるぐるKIOSKについては今回報告はないのですけれども、今回ぐるぐるKIOSKあるんですよということを地域の皆さんに、私も総務委員会の後もお話したのですが、若い方々に言っても、やっぱり知らない。それは、総務委員会でお話したと、出展される方々に周知していただくということでやるというお話だったかと思うのですが、以前、ぐるぐる博ですとか、ぐるぐるKIOSKに行ってみたという若い方にお話をしたところ、仲間内でやってるイベントのような、身内でやってるイベントのような感じがして、なかなか入っていきづらいという話もあったのです。

ですから、出店者の方々だけに周知をしていただくというのではなくて、もっともっと周知をするということは、やはり誰でも参加しやすい状況に、必要なのではないかとというふうにも改めて感じたのですが、総務委員会のときにもお話ししたように、町会の掲示板にも案内はされてないですし、そのあたりはもっとやっぱり周知すべきではないでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 KIOSKに関してはこれから周知について力を入れていきたいと思っておりますので、また内部で検討したいと思っております。

○へんみ圭二委員 XでぐるぐるKIOSKと検索してもあまり出てきませんし、区としても周知をしているのかなと感じてしまうところもありますから、できることはしっかりやっていただきたいと思っております。

そして最後に、今回、わくわくにここ図書館の森についての陳情ですから、このあたりについては、今後、どのように綾瀬で図書環境を整えていくかということについて、今回、エリアデザインも、私は次いられるか分かりませんから最後にお聞きしたいのですけれども、綾瀬の図書環境とい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

うのを考えたときに、やっぱりこのわくわくにこにこ図書館の森が、多くの世代の方々に利用できる状況をつくったほうがいいのではないかと私も考えています。

そのあたりは、区としては、これからもわくわくにこにこ図書館の森ということで、子どもたちだけを対象にしていくという方針は変わりがないのでしょうか。

○中央図書館長 へんみ委員おっしゃるところですけれども、やはり乳幼児からの本に親しむ環境、これが非常に大事だと思っておりますので、引き続き、お子さんとその保護者を対象にして、事業を進めてまいりたいと思っております。

ただ、一部のサービス利用につきましては、今も保護者のみではなくて、貸出しとか返却などは行えるようになっておりますので、そちらは継続して進めていきたいと考えております。

○へんみ圭二委員 こども家庭支援センターのこれからの活用については、本に触れ合える場所をつくっていくというのが区と以前からの方針ですけれども、本に触れ合える場所というだけではなくて、例えば貸し借りできるようにということを考えると、これも前回お話ししましたが、ブックポスト、24時間図書館の受け取りもできるし返却もできるというような機械がもう実際に使われている自治体がありますから、そういったものも例えばこども家庭支援センターに入れていくとか、そのような新しい取組についてはどのようなお考えがありますでしょうか。

○中央図書館長 ブックポストにつきましては、平日の利用者が多く、学校運営しているときも多く想定されますので、現状では考えてはいないのですけれども、今後可能性については検討してまいります。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑ありますか。

○川村みこと委員 今へんみ委員からも話がありましたので少ししておきたいと思っておりますけれども、

西口まちづくり計画のオープンハウス型説明会についてです。

私も4月19日の会に参加をさせていただきました。ちょっと感じたことが、多分1回目と2回目の開催に比べて3回目のオープンハウス型説明会の参加者が圧倒的に多かったのではないかと思うのですけれども、今度は一気に人が来て、丁寧に計画について説明ができていたかというところ、そうではないような様子も見受けられて、もったいなというふうにも感じました。同じブースの中に、葉っぱのデザインを書いたりするブース設けられていたかと思えますけれども、子どもはそっちにもう行きたいというふうな話があったりして、パネルを1個ずつちゃんと見てくれていたかというところ、そうでもない場面も見受けられました。例えばですけれども、パネルの中でもクイズ形式にして、一つ一つパネルを見ることで、何か答えてもらって進んでいくとか、もう少し説明を受けて、インタビュー受けるみたいな形ではなく、もうちょっと参加しやすいような形にしていく点についてはいかがでしょうか。

○まちづくり課長 川村委員おっしゃるような御提案なんか非常に参考になるかと思えます。1回目、2回目というのは、特に、少し年配の方ですとか、大人の方が中心で伺ったところですが、3回目は御家族で、小さなお子さん連れの方が来ていただいて、若いお母さんお父さんですとか、あるいは子どもさんも意見を言っていたところもございました。そういうところでは、より興味を持っていただくですとか、見ていただくですとか、そういうところも工夫を重ねながら、やり方含めて、今後検討してまいります。

○川村みこと委員 分かりました。1回目と2回目の参加者が6時間くらいやって、25人の日もあって、職員の方々がずっと6時間もいらっしゃるところについては、ちょっと少ないのかな

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

というふうにも感じましたけれども、反対に3回目は今度は人が多くて、なかなか丁寧なところどころが難しかったのではないかなと思いますので、是非やり方を様々考えながら、この綾瀬に限らず、いろいろな説明会のときには進めていただきたいなというふうに思っております。

続いて、わくわくにこにこ図書館の森の3月のイベントについてですけれども、にじの手形アートとディンプルアート、参加者の子どもの年齢層はどういった形でしたでしょうか。

○中央図書館長 具体的な年齢までは今手元に持ち合わせていないのですけれども、乳幼児の方、小学生未満の方の参加が多く、お子さんが80名、大人の方が44名参加したということになっております。

○川村みこと委員 分かりました。

私も体感ですけれども、小学生ぐらいの方も多くいらしてましたが、思ったより乳幼児の方が多かったなというふうに思います。それが、やっぱり手方なので、本当に生後一、二か月の赤ちゃんでもできると、そういったところが多かった要因なのではないかなというふうに私は見ていて感じました。

私も友人などに呼びかけて、いいイベントあるから行ってみてねというふうな話をしたのですけれども、なかなか今、図書館の森の周知はかなり進んでいる一方で、イベントについての情報が、乳幼児の保護者の方にはなかなか進んでいないというところがあるなというふうに感じています。小学校には様々周知をしていただいたりしてますけれども、乳幼児のところは課題なんだろうなと思います。その理由が、やはり子育てサロンにチラシを置いていただいても、今日新しいチラシ入ってるかしらとって、毎回、棚まで見に行くかというところ、多分そうではないというところもあって、知っていたら参加したいのだけれども、情報がなかなか行き届かないのかなというふうに思います。

例えばですけれども、子育てサロンの北綾瀬とかはXの単独のアカウントを持っていて、情報を発信しています。子育てサロンのアカウントなどにも依頼をして、近くでこういったイベントがあるので、こちらにも行ってみたいというような投稿をしてもらおうとか、せっかく子育てサロンのフォローされてる方は乳幼児がいらっしゃる保護者の方だと思いますので、そのターゲットに沿った周知の仕方をどんどん広げていくという点についてはいかがでしょうか。

○中央図書館長 川村委員おっしゃるとおり、情報発信については非常に大切だと認識しております。子育てサロンと一緒にやる点につきましては、住区推進課とも協議して考えてまいりたいと思います。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑ありますか。

○岡田将和委員 報告資料の9ページでございます。綾瀬駅西口周辺まちづくり計画の参加者の主な意見についての中に、(5)番、歩道のインターロッキングなどがぼこぼこして歩きにくいところがあるというインタビュー報告がございます。結構、インターロッキングは町の雰囲気ですとか、通りを通っていても雰囲気いいなと思う景観だと思うのですが、確かにぼこぼこしてるというのは、少しけつまずいてしまう可能性があると思うのですけれども、これ道路管理課の方で、もう少しインターロッキングでもぼこぼこしないようなインターロッキングの整備ですとか、そういう素材ですとか、候補みたいなものというのは調査研究なさっていらっしゃるのでしょうか。

○道路公園整備室長 今年度、道路維持の方で、そうした区道の修繕補修計画を立てる予定です。その中で、インターロッキングがやはりそういう、岡田委員おっしゃるとおり、がたがたになっているところも多いので、まず地域の方の御意見等も聞きながら、インターロッキングではなくて、例えばカラー舗装とか、あと、インターロッキング

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

に見えるプリントの舗装とかもありますので、その辺の事例等も研究しながら、導入できるところはそういうものでユニバーサルデザインに配慮した区道にしていきたいと考えております。

○岡田将和委員 綾瀬1丁目のプルミエの裏の商店街もすごく雰囲気の良いタイルを使った道路になっているのですが、その商店街に入ると雰囲気いいなというふうには思う一方で、実はこれ私の身内の話なんですけれども、父が歩道のインターロッキングにけつまずいて、実は転んで、頭とか顔を打ちました。そのとき夜だったのですが、父の話では5ミリから1センチぐらいの段差がインターロッキングで生じていたということで、そのとき病院に行かなくていいということだったのですが、実は私が病院に連れて行って、ちょっとうんでしまったり、大事には至らなかったというところではあるのですが、実際に綾瀬だけでなく、足立区中に歩道のインターロッキングが整備されていて、段差が生じているところというのはやはりあって、今回私の身内の話なんですけれども、そういうけつまずいて、転んで、けがをしているという方がいらっしゃる中で、こういうオープンハウスの中でも歩道がぼこぼこしているというお話があったので、そのあたり区として区全体のインターロッキングの舗装はどう考えるのか伺いたいのですが。

○道路公園整備室長 今回おけがなされたということで、大変申し訳ございませんでした。

当然そういうパトロールの方もさせていただいて、少しでも段差があるようなところは緊急で補修をさせていただいたりしております。古いところから少しずつ改善はしているのですが、何分そういう延長が長いものですから、計画立てて補修をしていきたい。

あと、例えば地先の方とかが、やはりそういう化粧した舗装ですと、そういう少し高規格のものを残してほしいという方もいらっしゃる一方で、

歩きやすいというところでの、そういう一般的な黒舗装というところというの也有りますので、利用者とか、あとはその周辺の沿道の皆様の御意見を聞きながら、なるべく早めに補修させていただければと思います。

○岡田将和委員 だんだん年を重ねると足が上がってこなくなるということもありますし、決してインターロッキングが悪かったということも言いたいのではなくて、やっぱり人通りが多いところ、優先道路等あると思いますし、そういった町の雰囲気とか景観もありますから、是非、区の方でも調査研究していただきたいということで、要望でお願いいたします。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○西の原ゆま委員長 質疑なしと認めます。

次に、各会派から意見を求めます。

○岡田将和委員 3月に募集要領も発表されたということで、4月も質問の受付等々やっているといます。旧こども家庭支援センターのこれからの動きを見て判断していきたいと思っておりますので、継続でお願いいたします。

○長井まさのり委員 図書館機能を含む、こうした多世代が交流できる施設というのは大変重要と考えますけれども、まだ議論の必要もあるかと思っております。継続でお願いします。

○小林ともよ委員 わくわくにこにこ図書館の森は利用対象も拡充していただいておりますけれども、まだ、いつでも誰でも利用できるものにはなっていません。これから旧こども家庭支援センター跡地にできるものがどのようなものになっていくのか注視していく必要があると思っておりますので、継続でお願いします。

○へんみ圭二委員 議論すべきことが多いと思しますので、継続でお願いします。

○川村みこと委員 まだ変化も多い綾瀬エリアですので、議論が必要だと思っております。継続でお願いし

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ます。

○西の原ゆま委員長 これより採決をいたします。

本件は、継続審査とすることに御異議はありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○西の原ゆま委員長 御異議なしと認め、継続審査と決定いたしました。

以下の審査に直接担当でない執行機関の退席を認めます。

[執行機関一部退席]

————— ◇ —————

○西の原ゆま委員長 次に、報告事項に移ります。

陳情の審査で報告のあった①を除く②から⑥まで、以上5件を都市建設部長から、⑦以上1件を千住地区まちづくり担当部長から、報告を願います。

○都市建設部長 引き続きよろしく願いいたします。

報告資料10ページになります。

こちら北綾瀬ゾーンの取組状況でございます。

主に、しょうぶ沼公園活用の件について御報告申し上げます。

初めに、2回試行調査、しょうぶ沼の開催結果でございますが、開催についてでございます。令和8年6月に予定をしております。

場所、主催については記載のとおりでございます。

また、新たな公園専用のルールづくりが今回のいわゆる試行調査でございますので、表組にありますとおり、令和8年秋頃に出店募集方法の検証等を進めてまいります。

11ページでございますが、Park-PFIの公園活用の検討でございます。

これまでの検討経緯をまとめさせていただきましたが、今の今後の予定でございますが、さきの

予算特別委員会で岡田委員からも御指摘、御提案ありました、綾瀬・北綾瀬の乗降客数増加、商業施設開設などの変化がございますので、令和8年度に予定していた、しょうぶ沼の木造改修工事に合わせて、改めて設置箇所等の検討を進めていきたいと考えております。

続いて、12ページでございます。

六町エリアデザインの取組でございます。

初めに、区画整理地内の公園整備でございますが、位置図、また、一号公園から六号公園までの状況について記載させていただいております。

項番2の六町まちづくり用地の使用の開始でございますが、こちら、恐れ入りますが、14ページに場所を記載させていただいております。

今後の方針なんですけれども、こちらにつきましては、六号公園と一体的な整備に向けて、住民の皆様の御意見聞きながら進めてまいりたいと思います。

また、六町いこいの森暫定活用につきましては、去る3月14日に開催させていただきました。

以下、記載のとおりでございますが、15ページの(7)今後の方針としまして、引き続き暫定活用イベント、また、緑地の本格運用について庁内連携を図りながら進めてまいります。

次に、16ページでございます。

項番の4、六町駅前区有地に係るオープンハウス型説明会の実施でございますが、実施日時、日程については記載のとおりでございます。

今後のスケジュールでございますが、令和8年度秋以降に公募を開始できればと思っております。

なお、1点、口頭で恐縮でございますが、こちら、先の予算委員会で吉岡委員から御提案ありました、学生の意見を聞いた六町地区のまちづくりアプリにつきましては、東京未来大学の学生さんの御協力を得られることになってます。今、予定では5月19日に開催する予定になっておりますので、改めて当委員会で御報告申し上げます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

続きまして、18ページでございます。

江北エリアデザインの取組でございます。

初めに、上沼田東公園東側創出用地の説明会を今週4月24日、25日、2回に分けて行います。

開催場所等については記載のとおりでございます。

なお、今後、施設につきましては、令和9年12月の施設開業を目指しております。

一方、江北給水所の上部利用でございますが、事業者から延期する旨の報告がございました。当初は11月30日に工事完了予定でございましたが、令和9年4月15日となります。逐次、情報が入りましたら当委員会で御報告申し上げます。

続いて、21ページ、西新井・梅島エリアデザインの取組でございます。

初めに、項番1の西新井駅東口まちづくりでございますが、さきに御報告しました4月11日に道路の使い方に関するイベントを実施いたしました。イベント内容、当日の様子を概略で書いておりますが、細かい内容については次回のエリアデザイン調査特別委員会で御報告申し上げます。

続いて、22ページでございます。

引き続きでございますが、5月24日に第2回の体験イベントを行います。内容については記載のとおりでございます。

項番2、西口のまちづくりでございますが、こちらにつきましては6月7日に駅前アンケート等を実施する予定でございます。

以下、内容については記載のとおりでございます。

また、23ページですが、西新井駅西口南地区の状況として、再開発準備組合の臨時会が開催されたこと、また、東武鉄道の状況を記載してございます。

次に、24ページ、竹ノ塚エリアデザインの取組状況でございます。

初めに、第2回の竹ノ塚東口地区アドバイザー

一会議の開催結果を記載させております。

開催日時等は記載のとおりでございますが、(5)の主な意見としまして、景観や施設の高さ、以下、広場空間、交通について、防犯、周辺のビジョン、公益施設等々、幅広く御意見を賜りました。

25ページの項番2でございます。ぐるぐる博覧会だけのつかの開催でございますが、3月22日に開催しまして、来場者数は4,000人弱となっております。参加者の主な意見を記載してございます。

○千住地区まちづくり担当部長 よろしくお願いたします。

26ページを御覧ください。

私からは千住エリアデザインの取組について御報告をさせていただきます。

件名、所管部署名は記載のとおりでございます。

項番1は、千住大川端地区のまちづくりについてでございます。

令和8年度の取組についての御報告になります。

(1)は取組の前提となります基本協定についてでございますが、千住大川端地区では、地区内の図に示す網掛けされた道路について、地権者と協力して整備するために、役割分担ですとか費用負担を定めた基本協定を令和6年に締結しているところです。

(2)は道路詳細設計の負担協定についてでございます。

項番1の基本協定に基づきまして、道路の詳細設計を行うために、令和7年7月29日に令和7年度負担として協定を締結しております。この設計の際、地元からの御意見もありまして、赤い丸の箇所について、信号機設置ですとか、差形状の追加検討が必須となりましたので、設計業務を令和7年度中に終了することができず、協定期間を令和8年度いっぱいまで変更して、★★継続しているところでございます。

27ページを御覧ください。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

(3)は土壌汚染対策工事の負担協定についてでございます。

黒い線で囲まれた牛田堀につきましては区が所有している道路ですけれども、カドミウムですとか鉛の土壌汚染が検出されているところがございます。

令和7年度は青い箇所につきまして、事業者が行うインフラ整備の際に、県全土の処分に上乘せされる土壌汚染対策工事の費用について、負担協定を締結して、その費用を負担しているところでございます。

令和8年度も引き続き、赤い範囲の箇所につきまして、土壌汚染対策工事の費用を負担していく予定となっております。

30ページの別紙を御覧いただければと思うのですが、土壌汚染の状況と対策工事のイメージを图示しております。

特に薄い緑で囲った箇所につきましては、第2溶出量基準を超過しておりまして、強い汚染があった箇所となっております。真ん中下のイメージにありますとおり、対象箇所だけではなく、10mメッシュの全ての土壌を入れ替える必要があるために、令和7年度よりも費用がかさむ予定となっております。

27ページにお戻りください。

一番下のエの今後の予定ですが、7月の足立区議会第2回定例会で御審議いただきまして、お認めいただけましたら、協定締結を行って、対策工事に着手できればというふうに考えてございます。

28ページを御覧ください。

項番2は、千住大橋駅周辺地区のまちづくりについてでございます。

千住大橋駅前区有地につきましては、1月に事業者説明会を開催したところですが、これを受けまして、事業者から足立区中高層建築物等の建築に関わる紛争及び調整条例に基づきまして、

標識の設置と説明会の開催について報告がありました。

標識設置日は3月31日、説明会は4月30日に、千住中居町にありますマルアイビルの2階、銀河ホールのホールCで開催の予定となっております。

周知範囲及び方法は記載のとおりとなっております。

29ページを御覧ください。

今後の予定ですが、今年の12月には工事着手、令和11年7月の会議を予定しているところでございます。

○西の原ゆま委員長 それでは、質疑に入ります。

何か質疑ありますか。

○かねだ正委員 視察もあるので、簡単に質問したいと思います。

江北のエリアデザインの取組状況のところなんですけれども、江北給水所上部の極楽湯が今年中に開設できるかなというふうに、地域の方も非常に多分楽しみにしてたと思うのですが、これが約半年近く延期になってしまったということは非常に残念だなというふうに感じてます。これ、なくなったりとかそういうことはないですよね。そこだけまず確認したいのですけれども。

○エリアデザイン計画担当課長 水道局にも、かねだ委員おっしゃるとおり、自分の方からもなくなるということはないでしょうねということを確認させていただいて、今のところなくなるという計画はございません。

○かねだ正委員 また撤退なんていうことになるのは、非常に心配だなというのはちょっと感じました。

延期ということで半年ずれて、実施して下さるというふうな予定で考えていく上では、ここに延伸の理由というふうに、物価高を背景とした工事費の増加、それを基に工事費を圧縮するための設計の見直しというのですけれども、この辺は、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

水道局から何か具体的に、こういうふうに業者に、直接聞いてないんですね、ここに書いてあるので、水道局から聞いてるといことだと思つので、何かもうちょっと具体的に、こういうふうに設計変更したいのだというようなお話というのはあったのでしょうか。

○エリアデザイン計画担当課長 水道局にも確認はしたのですが、あまり具体的なところまでは把握はしておらず、ただ、内容については精査をして、建築確認申請、具体的に設計が終わったということは確認しております。

○かねだ正委員 設計終わったのですか。

○エリアデザイン計画担当課長 圧縮の設計が終わって、確認申請が下りたということは聞いております。

○かねだ正委員 そうなると、内容については、情報としてはこれから、具体的なものというのは区の方にもこんな形になるのですよという情報は来るわけですか。

○エリアデザイン計画担当課長 今、水道局から聞いたお話につきましては、先週の金曜日に伺ってまして、そこから建築確認が下りますと、これは法律の手続になりますが、1週間以内に区の方にその情報が入ってきますので、そうしますと、概要書ですとか、そういったものが確認できるようになります。それで確認してまいります。

○かねだ正委員 どんな形になるのかと気になるので、細かなところまではあれですけども、前の形とは若干、圧縮と書いてありますから、施設として小さくなった部分もあるのかなというふうに、ちょっと気になるので、地域の方もすごく気にしてるので、それについては、議会にも是非情報提供いただければと思いますので、大丈夫ですよ。

○都市建設部長 かねだ委員御懸念の点につきましては、私どももきちんと把握して、議会、住民の方に御説明してまいります。

○かねだ正委員 是非それはよろしく願います。

それと、あと、是非なくならないような形で実施していただける、せっかくここまで進んでるので、それだけが本当一番の懸念なので、それだけは、水道局に対しても、施工者に対しても是非お願いをしてもらえればなというふうに、運営会社に対してもお願いしたいと思います。

それと、もう1点なんですけれども、区から要望してる駐車場の利用については予定どおり12月からやっていくということなんですけれども、これはどうなんですか、コインパーキングみたいな形でやるという形がいいのですか。そうすると、高野のスポーツパークも使えるということになると思うので、それについてはどのような考えなんですか。

○エリアデザイン計画担当課長 駐車場の利用方法につきましては、運営も含めて現在検討中と伺ってます。分かり次第、こちらも周知できればと思っております。

○かねだ正委員 駐車場の利用についても、その後始まる施設の運営と連動してるのかなというふうに思うので、どんな形でやるのかなと今の時点で、内容が疑問だなどと思う部分もあるのですけれども、全く分からないということなんですか。

○都市建設部長 こちらも、かねだ委員御懸念の点は、今後、例えば高野スポーツパークでイベントが開かれたときに、駐車場、車収容できなくなっちゃうのではないかとか、そういうこともありますが、このことについては当初から水道局には申入れしてありますので、たまたまといった恐縮ですが、すこやかプラザの駐車場もありますし、それでも足りない場合につきましては、今申し上げた極楽湯の駐車場については、場合によっては先行して貸していただけるように、これについては区からも働き掛けてまいります。

○かねだ正委員 イメージからすると、通常の駐車場については、すこやかプラザとかそういうものを利用してくださいますと。何かイベント等があった

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ときに、いっぱいになったときに、そこを一定期間貸してくださいというようなイメージなんですか。それとも、通常の中でずっと使えるという駐車場ということなんですか。

- 工藤副区長 もともとつくるときに、20台程度、区の施設を使う利用者のために確保してほしいということを申入れをして、水道局の部長の方も何とか20台程度確保するようにしたいというお話がありますが、ただ、多分、民間の会社に委託するので、具体的にそれをどう確保するのかというところまでまだ回答来ておりません。これについては、内容をまた改めて協議させていただいて、お伝えしたいと思います。
- かねだ正委員 工事中については、逆に言えばもう使えなくなったりとか、そういうケースも出てきたりとかして、なかなかずっと使うというのは多分難しいのだとは思うのですが、一定期間でも、あそこでイベントやったりするときは、特にこの前も内覧会ありましたけれども、すこやかプラザ使ってもいいのですけれども、もう本当近くなので、近くに駐車場があると便利なので、その辺についてはなるべく、延伸についてはやむを得ない部分もありますけれども、使える部分については、駐車場なんかは使えるような形で交渉していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
- 長井まさのり委員 私も端的に伺わせていただきます。
- まず北綾瀬ゾーンでありますけれども、ピクニック・ラボ in しょうぶ沼公園、大変好評であって、出店場所としてもポテンシャルも非常に高い評価を得ているところでございます。
- また、キッチンカーの出店を含む新たな公園専用ルールづくりも要望させていただきましたけれども、試行調査を踏まえ、策定は大体いつ頃になるのか伺います。
- 道路公園整備室長 現在、出店者とのヒアリング

等もさせていただいてるところで、なるべく早くやりたいと思いますけれども、今年度のなるべく早い時期に募集を固めていきたいと思います。

- 長井まさのり委員 またしっかり皆さんの意見を聞きながら、ルールづくりをしっかり行っていたきたいと思います。

また、このピクニック・ラボに参加された方から、北綾瀬駅を利用されたそうなんですけれども、あそこの交通広場に時計がないんですというお話があって、交通広場は大体時計があったり設置されたりしていて、こちらの方も要望させていただきましたけれども、この設置についてはいかがでしょうか。

- 道路整備課長 なるべく早期に設置できるように進めてまいります。

- 長井まさのり委員 分かりました。早期の設置に向け、よろしく願いいたします。

続いて、六町エリアデザインですけれども、このナンバー公園が記載がございます。今後、地域の声を伺いながら親しみやすい公園の名称について要望してきたところでございますけれども、まだ引継ぎ時期が未定という公園もありますが、今後のスケジュールはどうか。また、一号から八号公園の中で、先行して取り組むのはどこなのか伺います。

- パークイノベーション推進課長 こちらの番号公園の名前につきましては、公園が完成した後に、1年程度地域の方に利用していただいて、その感触も踏まえて、地域アンケートを踏まえて名前を正式に決定していきたいというふうに考えております。

整備につきましては、二号公園が先行して整備する予定となっております。

- 長井まさのり委員 分かりました。また、しっかり地域の声を生かした公園の名称もよろしくお願いいたします。

この二号公園でありますけれども、令和10年

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

度の開放と同時に防犯カメラの設置の要望もしました。この公園は7,000平米と非常に大きな広い公園ですので、1台だけではなくて、複数台の防犯カメラの設置をしていただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○パークイノベーション推進課長 防犯カメラですが、3台設置する予定でございます。

○長井まさのり委員 3台ということで、ありがとうございます。

また、インクルーシブ遊具と水遊び施設もあわせて要望しましたけれども、この内容についてはいかがでしょうか。

○パークイノベーション推進課長 まずインクルーシブ遊具につきましては、パネル遊具ともしもし遊具といいまして、パイプでつながって、離れるところで話せるという、そういう遊具を、インクルーシブ遊具2つ設置する予定です。また、水施設につきましては、たまらない噴水みたいな形で、ぴゅっぴゅっというような、定期的に出るような噴水、水遊び場を計画しております。

○長井まさのり委員 分かりました。また、開放のときにはしっかりそうした遊具の周知などについても、近隣によろしくお願いいたしますと思います。

あと、七号公園なんですけれども、地域に東京電力から鉄塔工事が入るので使えなくなる時期があるんですと、知ってますかと聞かれたのですが、私は聞いてなかったもので、ちょっと調べてみますということであったのですが、この七号公園は、交通安全のときにテントを張ったり地域でも利用している公園なので、一時期使用できない期間が生まれてくると思いますけれども、その報告も含めていかがでしょうか。

○パークイノベーション推進課長 東電の鉄塔工事がある場合は、こちらに占用申請とかあると思います。公園の利用者に、いわゆる最大限妨げのないように占用を許可するところもありますが、そういった占用申請とかありましたら、また適宜報

告させていただきたいというふうに考えております。

○長井まさのり委員 では、まだ申請が出てないということなんですね。

○パークイノベーション推進課長 現在で占用が出てくるかどうかというのは、今のところ資料で把握しておりませんので、1回持ち帰って、調べまして、また別途報告させていただきます。

○かねだ正委員 分かりました。よろしくお願いいたします。

最後に、六町いこいの森公園でありますけれども、このイベントの当日はレスク主催の六町つながるフェスタが六町公園で開催されて、商店会と連携したイベントということで、大変好評でありました。地域の企業ともコラボして、起震車も来たり、また、スタンプラリーもあって、スタンプラリーを押すといろいろな食べ物が割引で購入できるということで、大変好評であったなと思いますけれども、今後2回程度実施予定と記載がありますが、今後のイベントの予定であったりとか、内容についてはいかがでしょうか。

○パークイノベーション推進課長 前年度2回ほど、この六町いこいの森を活用してイベントをやらせていただきました。今年度も2回ほど計画しております。昨年度2回ほどやった中でアンケートを取りました。その中で、カフェを1回、一時的に、暫定的に設置していただきたいというような要望もアンケートの中でありましたので、地域の要望も踏まえて、今年度2回分、いろいろ工夫してイベントを考えていきたいというふうに考えております。

○長井まさのり委員 分かりました。地域の方も大変楽しみにしておられる、初めて行かれた方もたくさんおられたので、また行きたいというお声もありましたので、よろしくお願いいたします。

また、この建物の耐震補強の考え方について、また、今後、その活用方針をまとめていくのはい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

つ頃になるのか伺います。

○パークイノベーション推進課長 今年度も2回ほどイベントを行いまして、そこでもアンケートを取らせていただく予定です。

今後は、令和9年度以降にまた建物の耐震化も含めた全体的な活用方針を考えていきたいと思えます。昨年度集めましたアンケートの中では、こちら参加された方、歴史を感じるですとか、緑で癒やしを感じる、そのままの状態を残してほしいといった御意見が結構あったのですね。それも踏まえながら総合的に検討していきたいというふうに考えております。

○長井まさのり委員 分かりました。

また今後も地域の方に本当に親しまれるイベントの開催を、また2回ほど期待していますので、よろしくをお願いします。要望して終わります。

○小林ともよ委員 私からも何点が質問させていただきます。

西新井・梅島エリアデザイン取組についてですけれども、西新井東口のところで、今度また新しいイベントをやるといって、このイベントの中に逃げ地図ワークショップというものが企画されていると思うのですが、この逃げ地図ワークショップは何人参加可能でしょうか。

○中部地区まちづくり担当課長 逃げ地図ワークショップは各回6名で、午前と午後2回行いますので、合計で12名の方が御参加できる予定です。

○小林ともよ委員 この地域は255の関係で多くの方が立ち退きを迫られたりですとか、セットバックをしなきゃいけない、住民がかなり影響を受ける地域ですけれども、こういったところの参加人数が6名とか、午前午後で12名ということですが、あまりにも少な過ぎるのではないかなと思うのですね。こういった協力をいただいてまちづくりをしていくということなので、もっと大勢の方に参加できるような仕組みにしていきたいと思います。いかがでしょうか。

○中部地区まちづくり担当課長 逃げ地図ワークショップは1回2時間程度掛かってしまっていて、講師の方も逃げ地図士という方がいらっしゃるというものなので、参加人数は12名ということで限定させていただきました。ですが、同時にたくさんの方に御参加できるような道路の、災害時の役割を体感していただけるようなものもたくさん用意いたしましたので、そちらの方を体験していただけたらと思っております。

○小林ともよ委員 なるべく多くの方、とりわけ梅島3丁目地域に住んでいる方々に参加していただけるような仕組みも、これからもつくっていただきたいと思えます。

それと、このチラシは、地域にはどのような形で配布されるのでしょうか。

○中部地区まちづくり担当課長 協議会で案を報告させていただいた後に、各戸配布と地権者様への郵送、あと、町内掲示板ですとか、梅島駅等にポスターを貼ります。あと、情報スタンドですとか、SNSですとか、区のホームページでも周知してまいります。

○小林ともよ委員 地権者の方に郵送するということですから、なるべく参加を促すような形で、メッセージなどを添えていただければと思えます。

次に、竹ノ塚のエリアデザイン取組状況について質問します。

竹ノ塚駅東口地区アドバイザー会議の意見の中で、イの(イ)に、屋上は道路への飛び出しの心配がない囲われた安全な空間のため、人工芝等を配置し、子どもの遊び場となる空間づくりも一つの選択肢となるという意見が出ておりますけれども、これを第五公園の代替案にするべきではないと思いますが、いかがでしょうか。

○都市建設部長 代替公園としては考えておりません。

○小林ともよ委員 第五公園の代替となるようなものをということで、ちゃんと緑がある、木が生え

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

たような、そういった空間をきちんとつくっていただきたいと思いますよね。

あと、地上の広場についての意見ですけれども、活動が見える場とするなど、目的を明確にした空間づくりが求められるという意見も出ております。ただ、目的が明確になり過ぎると、用途が制限されて、自由に使えるものにならない可能性があると思うのですね。

樹木や緑を重視した、住民が自由に使えるものとして整備をしていくべきと思いますが、いかがでしょうか。

- まちづくり課長 委員の方からは滞在空間といえますか、人が集える空間というのはどういう活動を期待しているのかというのが見えづらいというような御意見いただきました。

小林委員おっしゃるとおり、確かにこれだけかという使い方ではなくて、こんな使い方もできますよとか、これから具体的に計画づくりをしていくに当たっては、地域の皆さんに御周知する中で、使い方なんかも含めて意見交換をさせていただきながら、つくり込みをしていきたいというふうに考えてございます。

- 小林ともよ委員 なるべく地域の皆さんの意見も取り入れていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

あと、交通についてですけれども、交通広場の上屋について、つなげることで、バス待ち、移動、日陰、創出と利便性向上が考えられるメリットはあると書いてありますけれども、これは、バス停の日除けや雨よけを連続した形状で設置するという意味で捉えてよろしいでしょうか。

- まちづくり課長 小林委員おっしゃるとおり、バス停の部分だけの上屋でなくて、バス停それぞれがつながることによって日陰ですとか、あと、バス待ちをする方のきちんとした整列につながるですとか、そういった御意見をいただいたところでございます。

○小林ともよ委員 以前、我が党でも、綾瀬の駅前のバス停の部分、そのようにするべきだということと意見をさせていただいておりましたけれども、この地域ではそのようにしてもらえるとということで、是非それで進めていただければと思うのですね。

あと、千住エリアのデザインの取組状況についてですけれども、丸で囲まれたエリアは、信号の設置など当初から懸念されていた部分だと思えますが、追加検討とは何を検討するのでしょうか。

- 千住地区まちづくり担当部長 交差点形状とあわせて信号機をどう設置したらいいのかというところを検討していこうというところでございます。

○小林ともよ委員 これには1年時間が掛かるということで、協定期間を1年延ばすということになったのでしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 直接1年掛かるということではないのですけれども、令和7年度中に終わらなかったということで、令和8年度まで協定期間を延ばしたというところでございます。

○小林ともよ委員 この交差点のところですが、通学路にもなっている場所ですので、是非、歩行者の安全性を第一に考えて計画していただきたいと思いますが、いかがですか。

○千住地区まちづくり担当部長 この交差点も含めて、工事に当たっては、安全に配慮すべきということは説明会でも地域の方からも御意見いただいておりますので、それは万全を期していきたいと考えております。

○小林ともよ委員 整備後に関しても歩行者が安全に通れる部分にするべきだと思うのですけれども、その点はいかがでしょう。

○都市建設部長 当然、整備後も安全のために計画をつくって、着実に実行してまいります。

○小林ともよ委員 協定期間が1年延長されるということですが、再開発への影響はあるので

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

しょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 再開発と言っているのか分からないのですが、開発の計画に関しては道路築造をしていくスケジュールありますけれども、それに間に合う形で設計が終わればというところなので、今のところは影響はないと考えてございます。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑ありますか。

○へんみ圭二委員 西新井のまちづくりについて、芝生マットをやられてるイベントに私も遊びに行かせていただきました。非常にお天気もよくて、ただお天気がよすぎたので、日陰をつくるのに皆さん大変苦労されていたなということで思いましたけれども、そこに来て子どもたちもとても楽しそうにしたので、とてもよかったのかなというふうに思いました。

付箋でまちづくりについての意見をいろいろと書かれているのを見ていたときに、例えば図書館が近くなってうれしいというような意見もあって、それを見たときに、今の梅田八丁目の状況を考えてとちょっと胸が痛くなるような思いましたのですが、例えば梅田八丁目施設が45億円ぐらいのところ100億円近く掛かっちゃう、そういう状況で、これから見直ししなきゃいけないということについてなども何か説明があってもよかったのかなという気がしたのですが、そのあたりについてはどうなのでしょう。

○都市建設部長 今回のイベントといいますか取組の中では、当然そういった要素も入れるべきだったとは思いますが、まずは地域のまちづくりに関心を持っていただきたいというのを最優先にいたしましたので、今、へんみ委員御懸念のところにつきましては、少し庁内で連携を図りながら、どこまで情報を出すかということも重要かと思っておりますので、それについては少し考えさせていただきます。

○へんみ圭二委員 お願いします。

あと、しょうぶ沼公園の活用について、ピクニック・ラボの第2回ということなのですが、これは出店するキッチンカーはどのように集めるのでしょうか。

○まちづくり課長 前回と同様に、今回もまた足立成和を通じて募集をさせていただきたいと考えてます。

その後もまたもう1回ぐらいやりたいと思っておりますので、そのときには公園の占用のルールづくりという中では、出店の仕方というか募集の仕方みたいなのも含めて考えていきたいというふうに考えてるところでございます。

○へんみ圭二委員 あと、まだルールづくりができてないから今回も公募するのは難しいということですか。例えば清和中心に第1回と同じようにやるにしても、それプラスで公募してもいいのかなという気もしたのですが、そのあたりはいかがなのでしょう。

○まちづくり課長 へんみ委員おっしゃるとおり、まだ全体的なルールづくりの中のところが取り組んでいないところがあるので、まずはスモールスタートしながら徐々に加えさせていただけるような形で取組をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○へんみ圭二委員 特定のところだけに偏るのではなくて、公平性の保てるようなルールづくりに向けて進めていただきたいと思います。

それから、千住大橋について、今日これから視察に行くということですが、また説明会があるという報告をいただきました。前回のときに、幾つか私の方からも質問させていただいて、例えば駐輪場が足りな過ぎるのではないかとということも事業者と話し合いをするということだったのですが、そのあたりはどのようになっているのでしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 私どもの方からお伝えをして、駐輪場については増やす方向で検討はさせていただいておりますけれども、まだ何台



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

それと最後に、前回の委員会のときに、先ほど申し上げたブックポスト、その受渡しができるようなものも考えてはどうですかという話をしたところ、その結果はまだ伺ってないのですが、中央図書館長は退席されてしまいましたけれども、例えば次長とか、調査していただいたのかどうか、教えていただけますか。

- 千住地区まちづくり担当部長 中央図書館には打合せをしたり、あと、へんみ委員に教えていただいた、ブックポストではなくて、やり取りできるものについては、実際に、物といますかカタログとかも見て確認はしております。ただ、どうしても、先方もテナントがある程度決まらないう話が進まないということもあるので、今は中央図書館と事業者の中でどういうことができるのか、例えばですけども、事業者としては貸し出す本をバックヤードで置いておくというのはスペースの無駄なので、本を飾って本が読める場所なんだということをPRしながら貸出しができればというような提案を受けているのですけれども、一方で、飾った本が持ってかれちゃうと、せっかく予約した人が借りられなくなっちゃうというので、それがどうかなというようなことがあったりして、そういう細々したところを詰めて、どこまでお互いが譲れるのかというところの条件を整理して、それで、実際にできるかどうかということこれから詰めていきたいというようなところがございます。
- へんみ圭二委員 あの場所から子どもたちに中央図書館まで行って借りようというのは本当に難しい話ですし、千住大橋地域の子もたちが本に触れやすいように、触れられやすいようにというのは、事業者が決まった段階で、もう決まっちゃったからできませんというのではなくて、実現できる方向性で頑張りたいと思います。
- 西の原ゆま委員長 ほかに質疑ありますか。
- 川村みこと委員 1点だけ確認させていただきま。北綾瀬ゾーンの取組についてですけれども、

P a r k - P F I のところについて事業者に再度ヒアリングを行うということですが、確かに、ららテラスなどの開業によって状況は変わっているのですけれども、そのせいで、例えばららテラスにはスターボックスもありますし、タピオカ屋もありますし、それを持ってしようぶ沼公園でお休みされてる、ピクニックのようにされてる方もいらっしゃるの、再度聞いてどうなのかなというところもあります。仮に事業者の方が出してみたいというふうにおっしゃったとしても、本当に利用があるのかというところは心配なところもあります。

この点について、公園の利用者の方にはどのようにヒアリングをしていくのか教えていただきたいと思ひます。

- パークイノベーション推進課長 今年度もこれからキッチンカーを入れるようなイベントありますので、そういった機会を捉えて、アンケート等取りたいと思ひます。
- あとは、P a r k - P F I で、まずはカフェ事業者ですね、以前に聞いた、スターボックスはもうありますけれども、タリーズですとかドトールに1回聞いてますので、その後の経過も聞いてみたいと思ひますが、今回聞くときはカフェに限定せずに、飲食業ありますので、いろいろ他自治体の前例も確認しながら、聞き先を決めていきたいというふうに考えております。

- 川村みこと委員 分かりました。

カフェに限定しないということなので、その点についてはいいかなと思ひますけれども、ららテラス北綾瀬の1階には、わくわく広場という各区内の事業者がいろいろなおにぎりとか出店されるスペースも入っております、そういったところで買って、持ってきているというふうな声も私は聞いております。そうすると、飲食の事業者でもハードルが高い、更にキッチンカーも出店していくというところであれば、なかなか難しい部分

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

もあると思いますので、聞くときには、是非、他区の動向なども確認しながら進めていただきたいと思いますので、これは要望させていただきます。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西の原ゆま委員長 質疑なしと認めます。

————— ◇ —————

○西の原ゆま委員長 次に、その他に入ります。

何かありますか。

○小林ともよ委員 今回の報告にはなかったのですが、北千住駅東口の市街地再開発について伺いたいと思います。短く質問します。

3月25日に行われた足立区の都市計画審議会では、これは足立区では決定されました。この都計審で公表された地権者の方からの意見書ですが、一方的にこの地から追い出されなければならないのか、長年営んだ店と地震に備え、鉄骨に建て替えた末の住みかを失う再開発は寝耳に水であった。現在の★★の土地では新築マンションへの入居や高額な管理費、固定資産税の支払いが続くか不安でならない。道路拡張や防災の大義名分は理解できるが部分的な整備はできなかったのか。この方40億円と書いているのですけども400億円の間違いだと思うのですが、400億円もの建設費に区の補助が出る事業でありながら説明が足りないと。1人の人生を大きく変える事業に対し、今住んでいる人たちへの再度の聞き取り調査と納得のいく対応を求めるといった意見書が出されていました。都市計画決定する場でこのような意見が公表されたことに、私は正直言って驚きました。この地権者が言うように、再開発によって人生を狂わせるようなことはあってはならないし、区は準備組合に度々説明するように伝えると言ってきまされたけれども、徹底がされていないと思うのですね。また、再開発事業全般に言えることですが

ども、とりわけ東口の再開発は一般の地権者が多数含まれていまして、都市計画決定後は組合員になる再開発なので、私はすごく心配をしているわけです。

建築資材が急激に値上がりして、建築コストが上昇し続けると言われる中で、土地の値段がそれと見合うような上昇をしなければ、地権者にとって★★が減ってしまうということになりかねない状況が今生まれてくると思うのです。家族5人とかで新しいマンションに住めるかといえば、もしかしたら住めなくなるということになれば、負担部分が出てきてしまうということにもなりかねません。また、組合施行の場合、地権者自身が事業主であるため、リスクも自分たちで背負うことになると思いますが、このことは準備組合から地権者にきちっと説明をして、同意を得ているのかも疑問だと思うのですが、本組合設立前にきちんとリスクについても準備組合から地権者に説明させるべきと思いますが、いかがでしょうか。

○千住地区まちづくり担当部長 小林委員おっしゃるとおりだと思います。

○小林ともよ委員 徹底していただきますでしょうか。足立区民の方たちの暮らしを守るためです。

○千住地区まちづくり担当部長 事業認可に当たっては、正式に同意を得て、3分の2以上の同意が得られないと事業認可が取れないということになりますので、そこは準備組合の方からは権利者の方々には説明を徹底していただきまして、なるべく100%に近い同意が取れるように、準備組合には伝えてまいりたいと考えております。

○小林ともよ委員 リスクについてもきちんと説明をして同意を得るということ、手順を踏んでいただきたいと思いますのですが、その辺徹底させるということできますか。

○工藤副区長 西口の再開発のときも非常に多くの地権者いらっしゃいました。それでもやっぱり3分の2といますけれども、全員同意を目指して、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

しっかりと地権者の方に説明をして再開発をするというのが基本ですので、東口についても、やはり自分の人生を変えることになりますので、一人一人しっかりと説明をして、御納得いただいて、事業を進められるようにしていきたいと思います。

○小林ともよ委員 是非100%目指すのであれば100%を目指していただいて、1人でも納得の出来ない人が出ないようにお願いしたいと思います。

○西の原ゆま委員長 ほかに質疑はありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○西の原ゆま委員長 質疑なしと認めます。

それでは、委員の皆様申し上げます。

昨年6月5日付の本特別委員会の中間報告書の提出から1年が経過いたします。

つきまして、本日の委員会で一区切りとし、議長宛てに調査報告書を提出したいと思います。

なお、調査報告書の内容については、正副委員長会に御一任いただきたいと思いますので、御了承願います。

以上で、エリアデザイン調査特別委員会を閉会いたします。

午後2時09分閉会

速報版